

## 6 施設・都市機能について

### (1) 施設や都市機能整備のありかた

問 11 施設（公共施設、病院、福祉施設など）や都市機能のありかた（配置や場所）についてお尋ねします。今後、インフラや公共施設などの維持更新コストの増大が見込まれますが、施設・都市機能はどのように整備すべきだと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

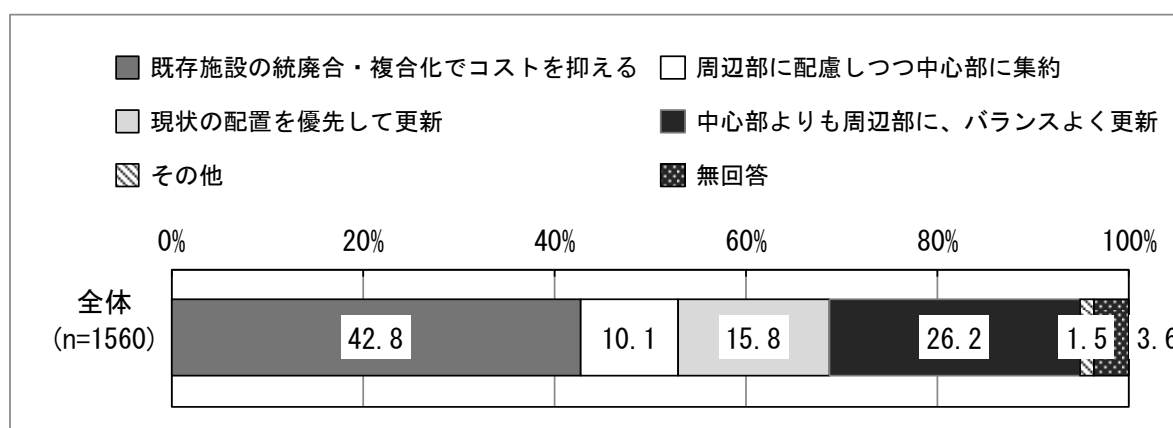
■「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が約4割を占める。

施設や都市機能整備のありかたについては、「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が42.8%と最も多く、次いで「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」(26.2%)、「現状の配置を優先して更新」(15.8%)、「周辺部に配慮しつつ中心部に集約」(10.1%)の順となっている。

性別、年齢別でみると、すべての層で「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が最も多くなっている。

居住地区別でみると、忍、行田、佐間、持田、星河、長野、下忍、荒木、須加、太井では「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」、北河原、埼玉、太田、南河原では「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」、星宮では「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」及び「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」が第1位に挙げられている。

施設や都市機能のありかた（全体）



施設や都市機能のありかた（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える	周辺部に配慮しつつ	現状の配置を優先して更新	中心部よりも周辺部に更新	その他	無回答
全体		1560	42.8	10.1	15.8	26.2	1.5	3.6
性別	男性	689	43.4	10.9	14.9	26.1	2.0	2.6
	女性	861	42.7	9.6	16.6	26.0	1.0	3.9
	無回答	10	10.0	0.0	0.0	50.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	40.2	18.9	15.0	23.6	2.4	0.0
	30～39 歳	151	40.4	13.9	11.9	33.8	0.0	0.0
	40～49 歳	209	48.3	8.1	16.3	24.4	1.4	1.4
	50～59 歳	228	49.6	10.5	10.1	25.0	2.2	2.6
	60～69 歳	360	45.0	9.7	15.8	27.8	1.1	0.6
	70 歳以上	471	37.8	7.9	20.0	24.0	1.5	8.9
	無回答	14	14.3	0.0	7.1	50.0	7.1	21.4
居住地区	忍	100	48.0	11.0	17.0	17.0	0.0	7.0
	行田	93	52.7	8.6	18.3	17.2	0.0	3.2
	佐間	129	47.3	14.0	22.5	14.0	0.8	1.6
	持田	258	45.7	12.0	15.9	21.3	1.9	3.1
	星河	167	42.5	7.2	16.8	28.1	1.8	3.6
	長野	201	43.8	10.4	14.4	26.9	2.0	2.5
	星宮	31	41.9	9.7	6.5	41.9	0.0	0.0
	下忍	38	47.4	5.3	13.2	26.3	0.0	7.9
	荒木	53	47.2	7.5	7.5	37.7	0.0	0.0
	須加	32	37.5	9.4	18.8	28.1	3.1	3.1
	北河原	16	12.5	0.0	12.5	62.5	0.0	12.5
	埼玉	86	33.7	9.3	15.1	36.0	2.3	3.5
	太田	111	32.4	5.4	16.2	37.8	2.7	5.4
	太井	133	45.9	12.8	12.8	24.1	2.3	2.3
	南河原	62	33.9	8.1	16.1	35.5	0.0	6.5
無回答	50	32.0	18.0	16.0	26.0	2.0	6.0	

## (2) 市の環境

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(1) 行田市の環境についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○をつけてください。行田市の環境について



■ “よい”と回答した割合は『⑤歴史や文化との調和』『①緑の整備状況』で多く、一方“悪い”は『③池や川の水のきれいさ』『⑦道のきれいさ』が多い。

市の環境について、8つの項目を設定して尋ねたところ、“よい”（「よいと感じる」及び「どちらかといえばよいと感じる」の合計）が最も多い項目は『⑤歴史や文化との調和』（41.6%）となっており、次いで『①緑の整備状況』（39.9%）が続く。一方、“悪い”（「どちらかといえば悪いと感じる」及び「悪いと感じる」の合計）は『③池や川の水のきれいさ』（27.5%）で最も多く、次いで『⑦道のきれいさ』（22.4%）が続く。

各項目で“悪い”と回答した割合をみると、性別では、男女ともに『③池や川の水のきれいさ』が最も多い。

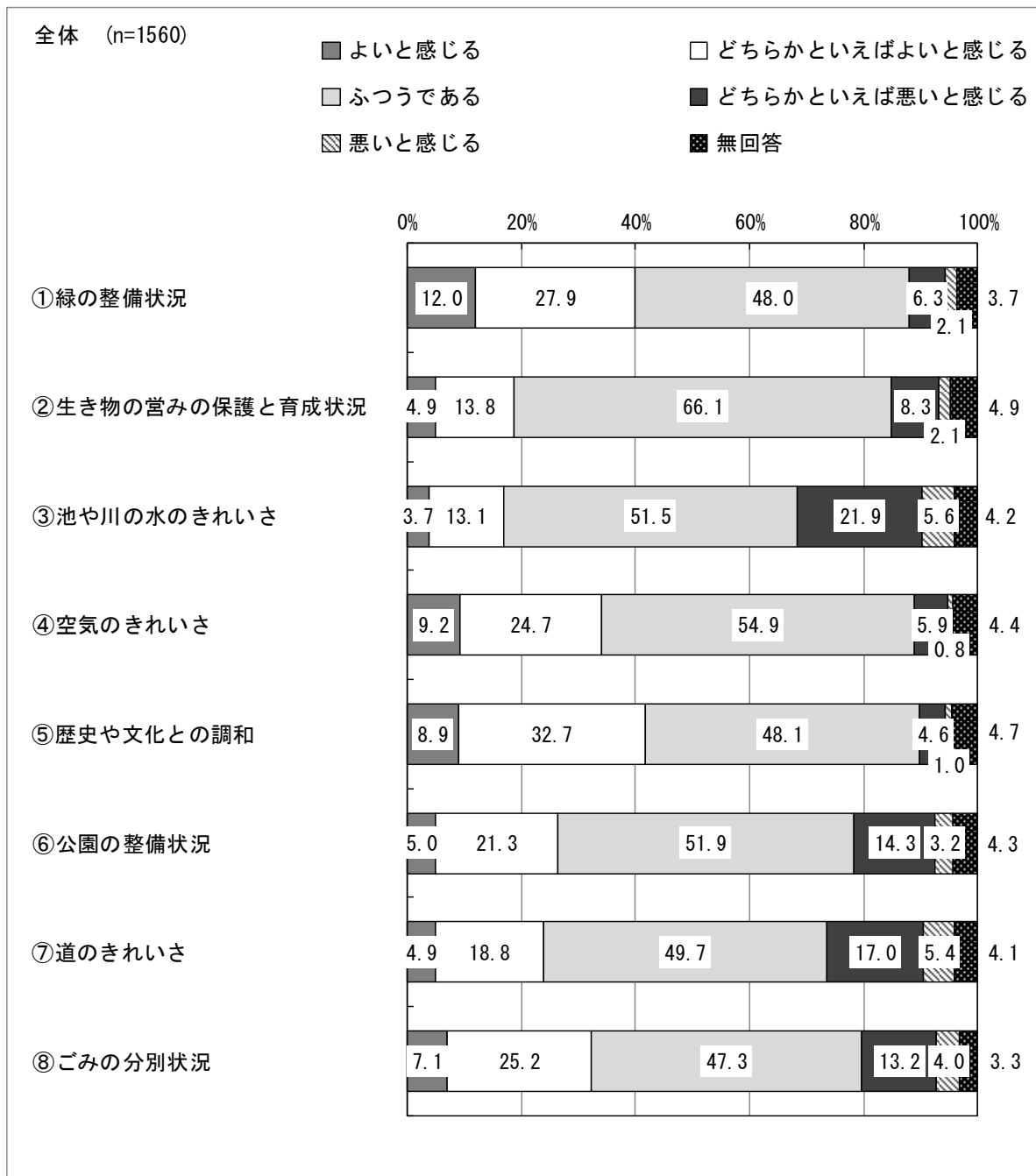
年齢別で“悪い”と回答した割合をみると、すべての層で『③池や川の水のきれいさ』が最も多く、特に30～39歳では37.1%が“悪い”と感じている。

居住年数別で“悪い”と回答した割合をみると、すべての層で『③池や川の水のきれいさ』が最も多く、続いて『⑦道のきれいさ』や『⑥公園の整備状況』が比較的多い傾向にある。

居住地区別で“悪い”と回答した割合をみると、ほとんどの地区で『③池や川の水のきれいさ』が最も多くなっているが、荒木では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑧ごみの分別状況』、

須加では『⑧ごみの分別状況』、北河原では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑥公園の整備状況』、太田では『⑦道のきれいさ』がそれぞれ最も多くなっている。

市の環境（全体）



市の環境について“悪い”と回答する割合（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区）

（単位：％）

		n	① 緑の整備状況	② 育生き物の営みの保護と	③ 池や川の水のきれいさ	④ 空気のきれいさ	⑤ 歴史や文化との調和	⑥ 公園の整備状況	⑦ 道のきれいさ	⑧ ごみの分別状況
全体		1560	8.3	10.3	27.5	6.7	5.6	17.5	22.4	17.2
性別	男性	689	10.2	13.2	29.2	6.5	6.5	18.0	23.7	16.0
	女性	861	7.0	8.1	26.4	6.9	4.9	17.3	21.6	18.2
	無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	7.9	13.4	31.5	11.8	7.1	22.8	30.7	11.0
	30～39 歳	151	9.3	9.9	37.1	13.2	7.9	28.5	29.1	22.5
	40～49 歳	209	9.1	12.4	27.8	10.5	6.7	21.1	19.6	17.7
	50～59 歳	228	6.1	8.8	23.7	7.0	4.8	14.9	18.0	17.5
	60～69 歳	360	8.9	11.7	28.9	4.7	6.9	18.3	23.9	18.9
	70 歳以上	471	8.7	8.7	24.6	3.0	3.4	12.1	20.6	15.7
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1
居住年数	5年未満	106	4.7	5.7	23.6	10.4	4.7	20.8	19.8	17.9
	5年以上 10 年未満	85	9.4	11.8	32.9	16.5	4.7	30.6	27.1	29.4
	10年以上 15 年未満	80	11.3	15.0	23.8	2.5	3.8	15.0	20.0	17.5
	15年以上 20 年未満	96	7.3	12.5	32.3	9.4	4.2	21.9	28.1	18.8
	20 年以上	1175	8.6	10.2	27.5	5.7	5.9	16.1	22.2	16.2
	無回答	18	0.0	5.6	16.7	5.6	11.1	16.7	11.1	11.1
居住地区	忍	100	5.0	7.0	31.0	6.0	7.0	13.0	14.0	12.0
	行田	93	4.3	11.8	29.0	5.4	3.2	23.7	18.3	11.8
	佐間	129	9.3	12.4	25.6	6.2	7.0	24.0	19.4	17.1
	持田	258	8.5	11.6	26.7	7.8	5.0	17.4	25.6	14.7
	星河	167	12.6	11.4	26.9	6.6	9.0	15.6	26.3	16.8
	長野	201	7.5	12.9	29.9	6.0	7.0	18.9	24.4	15.9
	星宮	31	6.5	6.5	38.7	6.5	3.2	32.3	25.8	16.1
	下忍	38	0.0	13.2	21.1	5.3	5.3	5.3	13.2	13.2
	荒木	53	5.7	5.7	30.2	9.4	5.7	11.3	26.4	30.2
	須加	32	6.3	0.0	9.4	3.1	6.3	15.6	12.5	18.8
	北河原	16	18.8	12.5	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3	0.0
	埼玉	86	9.3	11.6	26.7	7.0	1.2	15.1	24.4	23.3
	太田	111	4.5	9.0	21.6	2.7	4.5	11.7	25.2	18.9
	太井	133	12.0	9.0	27.1	12.0	4.5	19.5	22.6	21.8
	南河原	62	6.5	6.5	35.5	3.2	3.2	17.7	21.0	25.8
無回答	50	16.0	8.0	32.0	4.0	6.0	16.0	22.0	14.0	

### (3) 環境保全・改善のために強化すべき活動

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

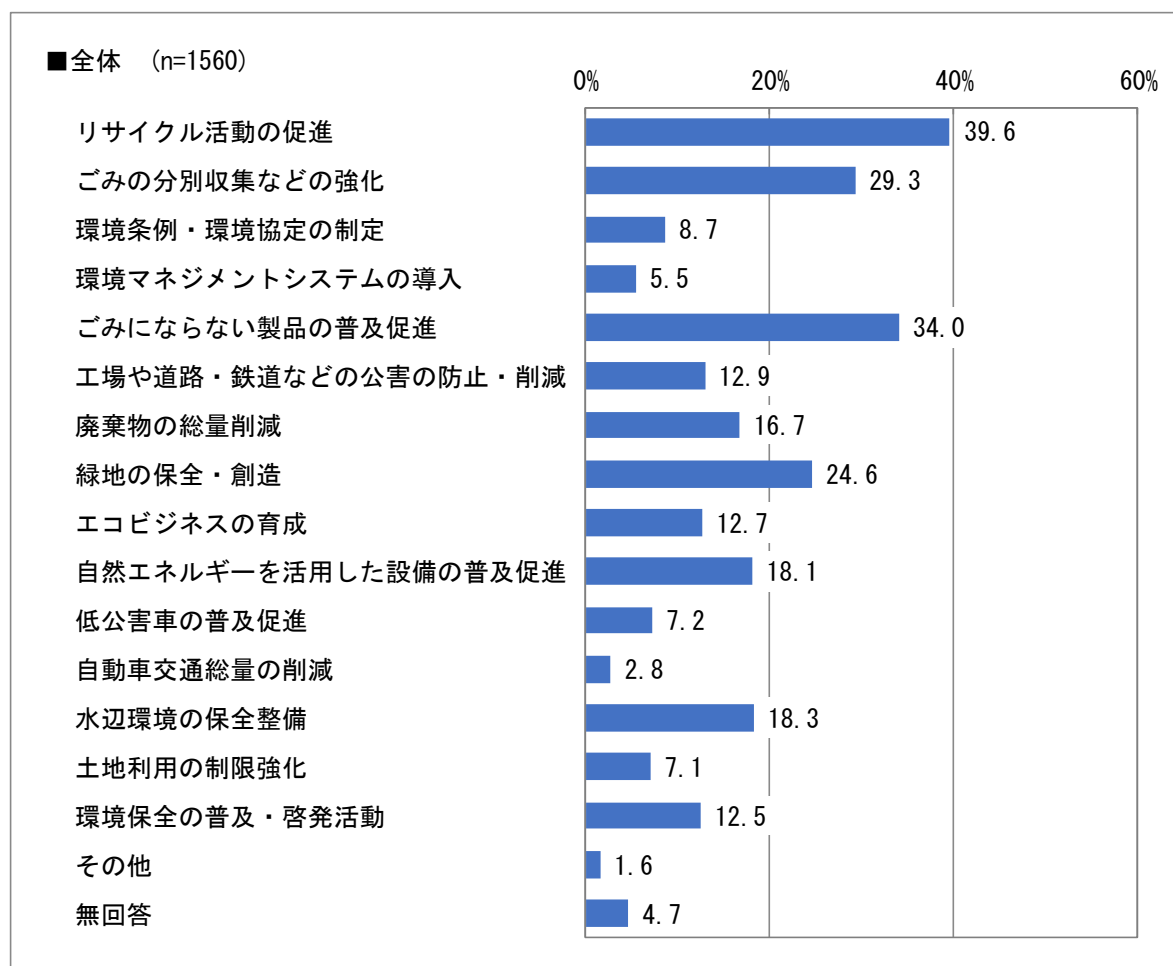


■「リサイクル活動の促進」が第1位。次いで「ごみにならない製品の普及促進」が続く。

環境保全・改善のために強化すべき活動は、「リサイクル活動の促進」(39.6%)が第1位に挙げられ、次いで「ごみにならない製品の普及促進」(34.0%)、「ごみの分別収集などの強化」(29.3%)、「緑地の保全・創造」(24.6%)などの順となっている。

性別、年齢別でみると、すべての層で「リサイクル活動の促進」が第1位に挙げられている。

環境保全・改善のために強化すべき活動（全体／複数回答）



環境保全・改善のために強化すべき活動（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	リサイクル活動の促進	ごみの分別収集などの強化	環境条例・環境協定の制定	環境マネジメントシステムの導入	ごみにならない製品の普及促進	工場や道路・鉄道などの公害の防止・削減	廃棄物の総量削減	緑地の保全・創造	エコビジネスの育成
全体		1560	39.6	29.3	8.7	5.5	34.0	12.9	16.7	24.6	12.7
性別	男性	689	37.2	28.6	10.2	7.3	34.8	13.1	17.0	21.8	12.0
	女性	861	41.6	29.7	7.4	4.2	33.6	12.9	16.6	27.1	13.2
	無回答	10	40.0	40.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0
年齢	18～29歳	127	40.9	22.8	6.3	3.9	26.8	22.8	20.5	22.8	19.7
	30～39歳	151	36.4	29.8	4.6	7.3	31.1	17.9	18.5	27.8	12.6
	40～49歳	209	38.3	28.7	4.8	5.7	27.3	14.8	15.8	28.2	15.8
	50～59歳	228	36.8	26.8	10.5	5.3	31.6	13.6	14.5	23.7	17.1
	60～69歳	360	41.9	31.4	9.7	5.6	40.0	10.3	16.7	25.3	11.9
	70歳以上	471	40.1	30.6	10.2	5.5	37.4	9.8	16.8	22.3	8.3
	無回答	14	50.0	35.7	21.4	0.0	7.1	7.1	14.3	28.6	0.0

		n	自然エネルギーを活用した設備の普及促進	低公害車の普及促進	自動車交通総量の削減	水辺環境の保全整備	土地利用の制限強化	環境保全の普及・啓発活動	その他	無回答
全体		1560	18.1	7.2	2.8	18.3	7.1	12.5	1.6	4.7
性別	男性	689	19.7	9.3	3.0	21.9	7.5	15.1	2.5	3.6
	女性	861	17.0	5.7	2.6	15.4	6.7	10.6	0.9	5.2
	無回答	10	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0
年齢	18～29歳	127	25.2	5.5	3.9	18.1	6.3	7.1	1.6	1.6
	30～39歳	151	21.9	11.9	3.3	21.2	8.6	4.6	1.3	2.6
	40～49歳	209	20.6	7.7	2.9	20.1	6.7	11.5	1.0	2.4
	50～59歳	228	19.7	7.0	3.1	17.1	5.3	13.2	0.4	3.9
	60～69歳	360	16.1	6.1	2.2	18.9	8.6	16.7	3.1	2.2
	70歳以上	471	14.6	7.2	2.5	16.8	6.8	13.6	1.5	8.9
	無回答	14	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	21.4

#### (4) 市のごみ収集体制

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(3) 市のごみ収集体制（収集回数や分別方法など）についてどのようにお考えですか。次の中から4つまで○を付けてください。【複数回答】

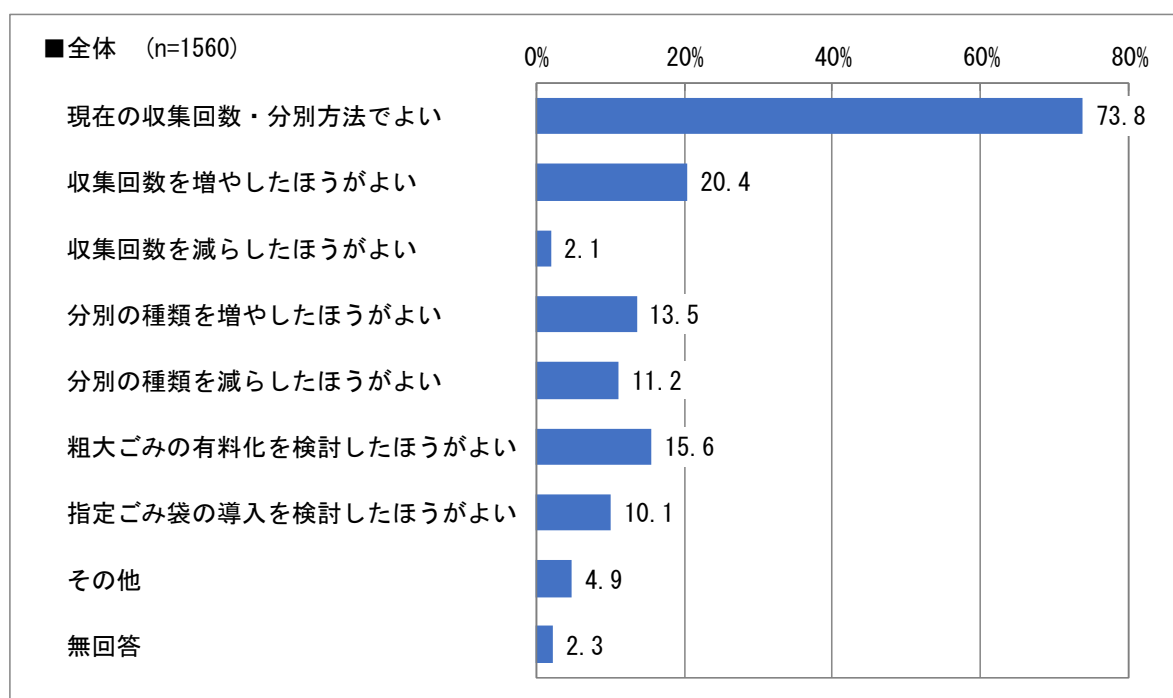
■「現在の収集回数・分別方法でよい」が他を大きく引き離して第1位。

ごみの収集回数については、「現在の収集回数・分別方法でよい」（73.8%）が他を大きく引き離して第1位となっており、多数の人が現状維持を望んでいることがうかがえる。次いで「収集回数を増やしたほうがよい」（20.4%）が続く。

性別、年齢別、居住年数別、居住地区別でも、すべての層で「現在の収集回数・分別方法でよい」が最も多くなっている。

また、居住地区別では、北河原で「分別の種類を減らしたほうがよい」と回答する割合が比較的多い。

市のごみ収集体制（全体／複数回答）





市のごみ収集体制（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	現在の収集回数・分別方法でよい	収集回数を増やしたほうがよい	収集回数を減らしたほうがよい	分別の種類を増やしたほうがよい	分別の種類を減らしたほうがよい	粗大ごみの有料化を検討	指定ごみ袋の導入を検討	その他	無回答
全体		1560	73.8	20.4	2.1	13.5	11.2	15.6	10.1	4.9	2.3
性別	男性	689	73.6	22.8	1.9	15.5	11.6	18.1	12.3	5.8	1.7
	女性	861	74.0	19.4	2.8	12.0	10.7	13.5	8.4	4.2	2.4
	無回答	10	70.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	72.4	22.8	2.4	7.1	11.0	7.9	6.3	6.3	0.0
	30～39 歳	151	60.3	27.8	3.3	12.6	17.2	11.3	7.3	4.6	0.0
	40～49 歳	209	72.2	22.0	1.4	11.5	10.5	10.0	7.2	6.7	0.5
	50～59 歳	228	68.0	22.8	1.3	11.8	9.6	12.3	6.6	4.8	1.3
	60～69 歳	360	76.9	20.3	2.8	16.4	10.6	16.9	11.4	4.7	0.8
	70 歳以上	471	79.8	17.0	2.8	15.1	10.8	22.1	13.6	4.0	5.5
	無回答	14	64.3	21.4	0.0	14.3	7.1	14.3	28.6	0.0	21.4
居住年数	5年未満	106	55.7	27.4	3.8	11.3	16.0	13.2	7.5	6.6	1.9
	5年以上 10 年未満	85	67.1	25.9	4.7	18.8	14.1	20.0	14.1	7.1	1.2
	10年以上 15 年未満	80	72.5	20.0	0.0	13.8	11.3	16.3	7.5	6.3	1.3
	15年以上 20 年未満	96	71.9	22.9	0.0	11.5	10.4	7.3	5.2	7.3	0.0
	20 年以上	1175	76.5	19.5	2.5	13.5	10.5	16.2	10.4	4.3	2.6
	無回答	18	50.0	38.9	0.0	11.1	16.7	11.1	27.8	0.0	11.1
居住地区	忍	100	77.0	20.0	2.0	13.0	8.0	20.0	10.0	5.0	1.0
	行田	93	78.5	20.4	3.2	9.7	11.8	17.2	8.6	3.2	3.2
	佐間	129	77.5	18.6	6.2	14.7	11.6	12.4	9.3	5.4	0.8
	持田	258	74.0	20.5	3.9	13.6	9.3	16.3	8.9	3.9	0.8
	星河	167	76.0	19.2	0.0	12.0	13.8	14.4	10.2	3.0	4.2
	長野	201	76.1	19.9	2.5	10.4	12.4	12.9	8.5	7.5	1.5
	星宮	31	67.7	16.1	0.0	6.5	16.1	9.7	12.9	0.0	6.5
	下忍	38	73.7	18.4	2.6	18.4	2.6	2.6	13.2	2.6	5.3
	荒木	53	73.6	20.8	0.0	15.1	11.3	24.5	15.1	7.5	0.0
	須加	32	68.8	18.8	0.0	18.8	12.5	18.8	12.5	3.1	3.1
	北河原	16	81.3	6.3	0.0	25.0	37.5	25.0	25.0	6.3	0.0
	埼玉	86	60.5	27.9	2.3	17.4	12.8	12.8	7.0	8.1	5.8
	太田	111	73.9	28.8	0.0	11.7	7.2	11.7	4.5	3.6	1.8
	太井	133	75.2	18.8	3.8	12.0	9.8	13.5	7.5	5.3	1.5
	南河原	62	64.5	19.4	1.6	24.2	9.7	27.4	19.4	6.5	4.8
無回答	50	66.0	28.0	0.0	16.0	16.0	26.0	26.0	4.0	4.0	

## (5) 収集回数を増やしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

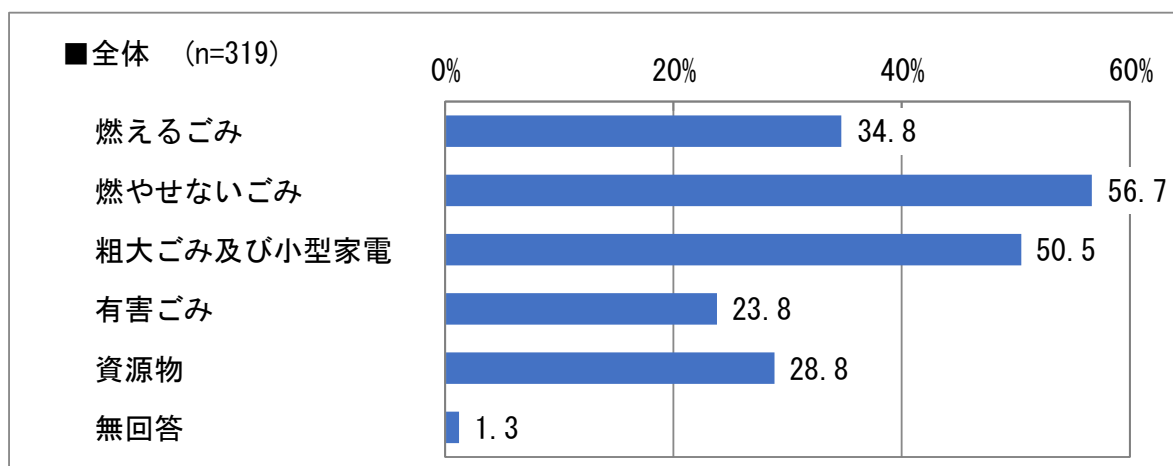
(4) 【(3)で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回収を増やしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を増やしたほうがよいごみは、「燃やせないごみ」及び「粗大ごみ及び小型家電」。

ごみ収集回数を増やしたほうがよいと回答した人（319人）にその種類を尋ねたところ、「燃やせないごみ」（56.7%）及び「粗大ごみ及び小型家電」（50.5%）が上位に挙げられている。

性別で見ると、男性では「燃やせないごみ」（58.7%）が最も多く、女性では「燃やせないごみ」及び「粗大ごみ及び小型家電」（同率55.2%）が最も多くなっている。

収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体／複数回答）



収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体、性別／複数回答）

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		319	34.8	56.7	50.5	23.8	28.8	1.3
性別	男性	155	33.5	58.7	45.8	21.9	23.2	1.9
	女性	163	35.6	55.2	55.2	25.8	34.4	0.6
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (6) 収集回数を減らしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

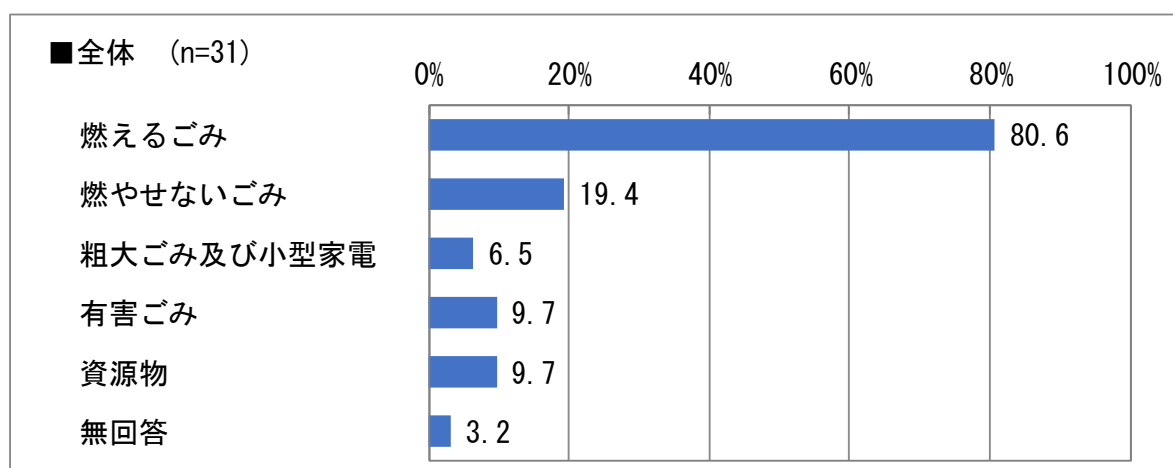
(5) 【(3)で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回収を減らしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を減らしたほうがよいごみは「燃えるごみ」。

ごみ収集回数を減らしたほうがよいと回答した人(31人)にその種類を尋ねたところ、「燃えるごみ」(80.6%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられている。

性別でみると、男女ともに「燃えるごみ」が最も多い。

収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体/複数回答)



収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体、性別/複数回答)

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		31	80.6	19.4	6.5	9.7	9.7	3.2
性別	男性	11	72.7	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1
	女性	20	85.0	20.0	5.0	10.0	5.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0